



釜石シーウェイブスRFCトップチーム活動スタートにあたり

釜石シーウェイブスRFC（SW）では、2月3日(土)10:00 チームミーティングをもって、来季公式戦にむけたトップチームの活動が、松倉にて始動いたします。

SWでは、2006年度にわたり、理事会ならびに事務局の運営スタッフのもとで、クラブの広域化とクラブのあり方の課題を検討しており、その成果を受けた施策展開を、2007年度以降に中長期計画として展開していく準備を進めてまいりました。

SWトップチームは、それら具体化されたクラブ運営の施策を基盤とし、強化の方針を固め、効果的な強化プランのもと、次期シーズンに向けた活動スケジュールを進めることが使命であります。

また今般、岩手県ラグビーフットボール協会（岩手県ラグビー協会）にて新生県内クラブリーグの検討がスタートしました。記者会見では、3月末までには来春より実施されるイーハトーブリーグ（仮称）の概要が固まる見込みであることが表されております。

（記者会見資料は添付をご参照ください。）

新生岩手県クラブリーグの実施によって、SWが県内リーグに連携し、県内リーグの活動に関与しながら、どのようなスタイルのチームを目指すことで、更なるチームの強化、補強を進展することが適うか、あるいは本来の目標であるトップリーグに近づくことが出来るかは、SWの将来を展望における重要課題であると考えます。

そこで、SWでは中長期の計画を策定するにあたり、SW強化プランも含めた地域クラブとしてのあり方について、取るべき航路を、サポーターの皆さまのご意見もいただき討議する場を、出来るだけ早期に、また年度内に複数回、設けることを検討しております。

かかる趣旨の公開シンポジウムにつきましては、実施決定次第、皆さまにお知らせいたしますので、どうぞよろしくご承知おきください。また、期日と場所によってご参加の適わない方々もおられることと思われませんが、何卒ご了承いただきたく存じます。

この度のSW強化方針についての情報伝達の不備ならびにご理解浸透への鋭意不足につきましては、何卒ご勘弁を賜りまして、どうぞよろしくSWスタッフ一同へのご高配をいただきますようお願い申し上げます。

以上

平成19年2月2日
釜石シーウェイブスRFC
理事長 佐々木傳十郎